

学校コード F120310105857

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の設置

注1

認可

注2

佐久大学 人間福祉学部

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人佐久学園
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 法人事務局

職名・氏名

電話番号 0267-68-6680

（夜間）

e-mail

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

人間福祉学部

<人間福祉学科>		ページ
1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	施設・設備の整備状況, 経費	15
4	既設大学等の状況	16
5	教員組織の状況	17
6	附帯事項等に対する履行状況等	31
7	その他全般的事項	34

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人佐久学園

(2) 大学名

佐久大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒385-0022
長野県佐久市岩村田2384番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(モリオカ マサヒロ) 盛岡 正博 (平成25年7月)		
学長	(ホリウチ フキ) 堀内 ふき (平成28年4月)		
学部長	(ノグチ サダヒサ) 野口 定久 (令和3年4月)		
学科長等	(シモムラ ユキヒト) 下村 幸仁 (令和3年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)
令和4年度に報告する内容 → (4)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人間福祉学部 人間福祉学科 学士（社会福祉学）	社会学・社会福祉学関係	4 年	70 人	10 人 3年次	300 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 70 (—) [—]	人 — (—) [—]	人 70 (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	0.47倍	—	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	84 (—) [—]	— (—) [—]	60 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	83 (—) [—]	— (—) [—]	60 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	57 (—) [—]	— (—) [—]	54 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	28 (—) [—]	— (—) [—]	38 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	—		—		—		0.40		0.54		—				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出して下さい。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	28 [-] (-)	- [-] (-)	38 [-] (-)	- [-] (-)						
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	28 [-] (-)	- [-] (-)					
3年次			/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
4年次	/						/		/		- [-] (-)
計			- [-] (-)					28 [-] (-)			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
令和3年度	28 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	66 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{28} = \boxed{0.00} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{66} = \boxed{0.00} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間福祉学部 人間福祉学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ひと・生命の広がり	人間関係とコミュニケーション	1前	2								2	
	信仰と文化	1後	2								2	
	ケアと人権	1前	1					1				
	足と健康 基本	1前	1								2	
	人間存在と世界観	1・2・3・4前	2								1	
	宇宙と生命の起源	1・2・3・4前	1								1	
	小計(6科目)	—	1	8	0	0	0	0	1	0	8	
	ひとと文化の多様性	国際事情と社会貢献	1前	1								2
		多文化理解	1・2・3・4前	1								1
		ジェンダー論	1・2・3・4前	1					1			
文学		1・2・3・4前	1								1	
芸術学		1・2・3・4前	1								1	
アジア事情		1・2・3・4前	1					1			1	
小計(6科目)	—	0	6	0	0	0	2	0	0	6		
ひとと社会生活	信州・佐久学	1前	1								2	
	消費と経済活動	1・2・3・4前	1								1	
	契約と社会のルール	1・2・3・4前	1								1	
	ボランティア・住民活動論	1・2・3・4後	2								2	
	個と集団	1・2・3・4前	1					1			1	
小計(5科目)	—	1	5	0	0	0	1	0	0	5		
学びと自己変容	表現技法 I	1前	1								2	
	野外活動論	1・2・3・4前	1								1	
	災害ボランティア	2・3・4前	1					1				
	入門演習	1前	2			3	1	4	1			
	CBL実習 I	1前	2			1	1	3	1			
	CBL実習 II	1通	1			1	1	3	1		1	
小計(6科目)	—	5	3	0	3	1	4	1	0	4		
ひとと情報	コンピュータの基礎演習	1前	1								1	
	情報管理法	2前	1								1	
小計(2科目)	—	1	1	0	0	0	0	0	0	2		
ひとと世界	英語 I	1前	1								1	
	英語 II	1後	1								1	
	中国語 I	1・2・3・4前	1								1	
	中国語 II	1・2・3・4後	1		1						1	
	韓国語 I	1・2・3・4前	1								1	
	韓国語 II	1・2・3・4後	1		1						1	
	医療・ケア英会話	3・4前	1		1						1	
	医療・ケア中国語	3・4前	1		1						1	
小計(8科目)	—	2	2	4	0	0	0	0	0	3		
基礎科目 I	ヒューマンケア概論 I	1後	2			1						
	生命倫理	1後	2								3	
	佐久の医療とケアの歴史	1前	1								1	
	生活習慣と健康	1前	2								1	
	食と健康	1後	2								1	
	運動と健康 I	1・2・3・4前	2								1	
	運動と健康 II	1・2・3・4後	2								1	
小計(7科目)	—	5	8	0	1	0	0	0	0	8		
基礎科目 II	ヒューマンケア概論 II	2前	2			1						
	社会福祉の歴史	2前	2								1	
	社会保障論 I	1後	2			1						
	社会福祉論	1前	2			2						
	社会福祉法制論	2前	2			1						
	ソーシャルワーク入門	1後	2						1			
	地域福祉論 I	1後	2			1						
	ケアワーク論	2前	2								1	
	ヒューマンケア基礎実習	1後	1			1	1	3				
	ケアワーク演習・実習	2後	2			1	1	3			1	
小計(10科目)	—	19	0	0	6	1	5	1	0	2		

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
ひと・生命の広がり	人間関係とコミュニケーション	1前	2									1	
	信仰と文化	1後	2									2	
	ケアと人権	1前	1							1			
	足と健康 基本	1前	1									2	
	人間存在と世界観	1・2・3・4前	2									1	
	宇宙と生命の起源	1・2・3・4前	1									1	
	小計(6科目)	—	1	8	0	0	0	0	0	1	0	7	
	ひとと文化の多様性	国際事情と社会貢献	1前	1									2
		多文化理解	1・2・3・4前	1									1
		ジェンダー論	1・2・3・4前	1						1			
文学		1・2・3・4前	1									1	
芸術学		1・2・3・4前	1									1	
アジア事情		1・2・3・4前	1						1			1	
小計(6科目)	—	0	6	0	0	0	0	2	0	0	6		
ひとと社会生活	信州・佐久学	1前	1									2	
	消費と経済活動	1・2・3・4前	1									1	
	契約と社会のルール	1・2・3・4前	1									1	
	ボランティア・住民活動論	1・2・3・4後	2									2	
	個と集団	1・2・3・4前	1						1			1	
小計(5科目)	—	1	5	0	0	0	0	1	0	0	6		
学びと自己変容	表現技法 I	1前	1									1	
	野外活動論	1・2・3・4前	1									1	
	災害ボランティア	2・3・4前	1							0		4	
	入門演習	1前	2			3	1	4	1	3	1	1	
	CBL実習 I	1前	2			1	1	3	1	2	1	1	
	CBL実習 II	1通	1			1	1	3	1	2	1	2	
小計(6科目)	—	5	3	0	3	1	3	1	3	1	9		
ひとと情報	コンピュータの基礎演習	1前	1									1	
	情報管理法	2前	1									1	
小計(2科目)	—	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2		
ひとと世界	英語 I	1前	1									1	
	英語 II	1後	1									1	
	中国語 I	1・2・3・4前	1									1	
	中国語 II	1・2・3・4後	1		1							1	
	韓国語 I	1・2・3・4前	1									1	
	韓国語 II	1・2・3・4後	1		1							1	
	医療・ケア英会話	3・4前	1		1							1	
	医療・ケア中国語	3・4前	1		1							1	
小計(8科目)	—	2	2	4	0	0	0	0	0	0	4		
基礎科目 I	ヒューマンケア概論 I	1後	2			1							
	生命倫理	1後	2									3	
	佐久の医療とケアの歴史	1前	1									1	
	生活習慣と健康	1前	2									1	
	食と健康	1後	2									1	
	運動と健康 I	1・2・3・4前	2									1	
	運動と健康 II	1・2・3・4後	2									1	
小計(7科目)	—	5	8	0	1	0	0	0	0	0	6		
基礎科目 II	ヒューマンケア概論 II	2前	2			1							
	社会福祉の歴史	2前	2									1	
	社会保障論 I	1後	2			1							
	社会福祉論	1前	2			2							
	社会福祉法制論	2前	2			1							
	ソーシャルワーク入門	1後	2							1			
	地域福祉論 I	1後	2			1							
	ケアワーク論	2前	2									1	
	ヒューマンケア基礎実習	1後	1			1	1	3		2		1	
	ケアワーク演習・実習	2後	2			1	1	3		2		2	
小計(10科目)	—	19	0	0	6	1	4	1	0	0	4		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目Ⅲ	法学(日本国憲法含む)	1・2後	2								1	
	経済学	2前	2		1						1	
	心理学	1後	2								1	
	社会学	1後	2			1	1					
	家族社会学	1・2後	2				1					
	生活学原論	2後	2		1							
	医学概論	2前	2								3	
	基礎統計法	2前	2								1	
	小計(8科目)	—	4	12	0	2	1	1	0	0	0	6
	基礎科目Ⅰ	高齢者福祉論Ⅰ	1後	2		1						
高齢者福祉論Ⅱ		2後	2		1		1					
障害の福祉学Ⅰ		1後	2								1	
障害の福祉学Ⅱ		2後	2			1	1					
児童福祉論Ⅰ		1後	2			1						
児童福祉論Ⅱ		2後	2			1					1	
女性福祉論		2後	2								1	
貧困の福祉学Ⅰ		1後	2			1						
小計(8科目)		—	8	8	0	3	2	1	0	0	0	3
基礎科目Ⅱ	ヒューマンケア調査論	2後	2			1	2					
	ヒューマンケア調査実習	3前	2			1	3					
	ヒューマンケア情報論	2後	2								1	
	データ解析法	2後	2								1	
	質的研究法	3前	2		1		1					
	ソーシャルワーク論Ⅰ	2前	2				1					
	ソーシャルワーク論Ⅱ	2後	2				1					
	ソーシャルワーク論Ⅲ	3前	2				1					
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2前	2		2	1	2	1			1	
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2後	2		2	1	2	1			1	
小計(10科目)	—	8	12	0	2	2	6	2	0	0	3	
専門科目	看護ケア論	2前	2								2	
	福祉臨床論	3前	2								1	
	発達心理学	2前	2								1	
	社会保障論Ⅱ	2前	2		1							
	保健医療福祉制度論	2後	2		1							
	福祉サービス論	2前	2		1							
	国際福祉論	2後	2				1				1	
	地域保健学	3前	2							1		
	精神医学Ⅰ	3前	2								1	
	リハビリテーション論	2前	2								1	
	ヘルス・プロモーション論	2後	2								1	
	貧困の福祉学Ⅱ	2後	2		1		1					
	多職種連携	2前	1								2	
	司法福祉論	2前	2								1	
	ケア福祉行財政論	3後	2								1	
	生活援助学	2前	2								3	
	ソーシャルワーク論Ⅴ	4前	2								1	
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	3前	2		2	2	2				1	
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	3後	2		2	2	2				1	
小計(19科目)	—	6	31	0	5	2	3	0	0	0	17	
発展科目Ⅰ(福祉臨床教育群)	児童養護論	3前	2			1						
	臨床心理学	3前	2								1	
	老年心理学	3後	2		1							
	家族臨床学	3後	2								1	
	老年学	2後	2								1	
	障害学	3前	2								1	
	認知症ケア論Ⅰ	3前	2		1						2	
	リスクマネジメント論	3後	2				1				1	
	ソーシャルワーク論Ⅳ	3後	2			1						
	精神保健ソーシャルワーク論	3前	2		1							
小計(10科目)	—	0	19	0	3	2	1	0	0	0	7	
発展科目Ⅱ(医療福祉教育群)	医療ソーシャルワーク論	3前	2								1	
	医療支援ネットワーク論	3後	1				1					
	認知症ケア論Ⅱ	3後	2								2	
	ターミナルケア論	3後	1								1	
	精神保健学Ⅰ	3前	2								1	
	精神保健学Ⅱ	3後	2								1	
	精神保健福祉論Ⅰ	2後	2			1						
	精神保健福祉論Ⅱ	3前	2			1						
	カウンセリング	3後	1								1	
小計(9科目)	—	0	15	0	0	1	1	0	0	0	6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目Ⅲ	法学(日本国憲法含む)	1・2後	2									1
	経済学	2前	2		1							1
	心理学	1後	2									1
	社会学	1後	2				1	1				
	家族社会学	1・2後	2					1				
	生活学原論	2後	2		1							
	医学概論	2前	2									3
	基礎統計法	2前	2									1
	小計(8科目)	—	4	12	0	2	1	1	0	0	0	6
	基礎科目Ⅰ	高齢者福祉論Ⅰ	1後	2		1						
高齢者福祉論Ⅱ		2後	2		1		1					
障害の福祉学Ⅰ		1後	2									1
障害の福祉学Ⅱ		2後	2			1	1					
児童福祉論Ⅰ		1後	2			1						
児童福祉論Ⅱ		2後	2			1						1
女性福祉論		2後	2									1
貧困の福祉学Ⅰ		1後	2			1						
小計(8科目)		—	8	8	0	3	2	1	0	0	0	3
基礎科目Ⅱ	ヒューマンケア調査論	2後	2			1	2			1		1
	ヒューマンケア調査実習	3前	2			1	3			1		1
	ヒューマンケア情報論	2後	2									1
	データ解析法	2後	2									1
	質的研究法	3前	2		1		1					
	ソーシャルワーク論Ⅰ	2前	2				1					
	ソーシャルワーク論Ⅱ	2後	2				1					
	ソーシャルワーク論Ⅲ	3前	2				1					
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2前	2		2	1	2	1				1
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2後	2		2	1	2	1				1
小計(10科目)	—	8	12	0	2	2	5	1	0	0	3	
専門科目	看護ケア論	2前	2									2
	福祉臨床論	3前	2									1
	発達心理学	2前	2									1
	社会保障論Ⅱ	2前	2		1							
	保健医療福祉制度論	2後	2		1							
	福祉サービス論	2前	2		1							
	国際福祉論	2後	2							1		1
	地域保健学	3前	2									1
	精神医学Ⅰ	3前	2									1
	リハビリテーション論	2前	2									1
	ヘルス・プロモーション論	2後	2									1
	貧困の福祉学Ⅱ	2後	2		1		1					
	多職種連携	2前	1									2
	司法福祉論	2前	2									1
	ケア福祉行財政論	3後	2									1
	生活援助学	2前	2									3
	ソーシャルワーク論Ⅴ	4前	2									1
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	3前	2		2	2	2		3			1
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	3後	2		2	2	2		3			1
小計(19科目)	—	6	31	0	5	2	4	0	0	0	16	
発展科目Ⅰ(福祉臨床教育群)	児童養護論	3前	2			1						
	臨床心理学	3前	2									1
	老年心理学	3後	2		1							
	家族臨床学	3後	2									1
	老年学	2後	2									1
	障害学	3前	2									1
	認知症ケア論Ⅰ	3前	2		1							2
	リスクマネジメント論	3後	2				1			0		1
	ソーシャルワーク論Ⅳ	3後	2			1						
	精神保健ソーシャルワーク論	3前	2		1							
小計(10科目)	—	0	19	0	2	2	0	0	0	0	7	
発展科目Ⅱ(医療福祉教育群)	医療ソーシャルワーク論	3前	2									1
	医療支援ネットワーク論	3後	1				1					
	認知症ケア論Ⅱ	3後	2									2
	ターミナルケア論	3後	1									0
	精神保健学Ⅰ	3前	2									1
	精神保健学Ⅱ	3後	2									1
	精神保健福祉論Ⅰ	2後	2			1						
	精神保健福祉論Ⅱ	3前	2			1						
	カウンセリング	3後	1									1
小計(9科目)	—	0	15	0	0	1	1	0	0	0	5	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
発展科目Ⅲ (生活環境教育群)	社会環境ケア論	3前	2	1							1	
	住環境ケア論	3後	2	1								
	ケア環境デザイン学	3後	2								2	
	生活支援デザイン学	3前	2	1								
	福祉テクノロジー	3前	2								1	
	ケアのコミュニティ学	3後	2	1								
	地域福祉論Ⅱ	2後	2	1	1							
	健康まちづくり論	3後	2				1				1	
	小計(8科目)	—	0	16	0	2	1	1	0	0	0	7
	発展科目Ⅳ (マネジメント教育群)	福祉公共政策論	3前	2								1
		ケア財源・負担論	3後	2	1							
		自治体福祉論	3前	2	1							
病院・施設管理論		3後	2	1								
経営学		3前	2								1	
地域・プレメディカル産業論		3後	2								1	
非営利組織論		2後	2				1					
ソーシャル・ビジネス論		3前	2				1					
マーケティング論		3後	2								1	
小計(9科目)		—	0	18	0	3	0	1	0	0	0	4
専門科目 展開科目	社会福祉原論	3前	2		1						1	
	地域包括ケア論	4前	1					1				
	災害福祉論	4前	2						1			
	ケア労働・職業論	4後	2		1							
	ヒューマンケア専門演習Ⅰ	3前	2		8	4	6					
	ヒューマンケア専門演習Ⅱ	3後	2		8	4	6					
	CBL総合演習・実習	3後~4前	2		3	1	2					
	卒業課題研究	4通	4		8	4	6					
小計(8科目)	—	10	7	0	8	4	4	0	0	0	1	
自由科目	ソーシャルワーク演習Ⅴ	4前		2	2	2	2				1	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2後		2	1	2	2	1	1	1	1	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3前		1	1	2	2	1	1	1	1	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	3後		1	1	2	2	1	1	1	1	
	ソーシャルワーク実習	3通		6	1	2	2	1	1	1	1	
	精神医学Ⅱ	3後		2	2						1	
	精神保健福祉論Ⅲ	3後		2	1							
	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ	3後		2	1	1						
	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ	4前		2	1	1						
	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	3後		1	1	1					1	
	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	4通		1	1	1					1	
	精神保健ソーシャルワーク実習	4通		5	1	1					1	
	小計(12科目)	—	0	0	27	3	3	2	1	1	2	
	合計(151科目)	—	70	171	31	9	4	6	1	1	1	65

卒業要件及び履修方法

必修科目70単位、基盤教育科目の選択科目から13単位以上、専門科目の基礎科目の選択科目から10単位以上、基幹科目の選択科目から20単位以上、発展科目の選択科目から16単位以上、展開科目の選択科目から2単位以上を修得し、131単位以上修得すること。なお、発展科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳについては、主専攻の教育群から8単位、主専攻以外の教育群から各2単位、さらに全ての教育群から2単位以上を修得しなければならない。(履修科目の登録の上限：年間48単位)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
発展科目Ⅲ (生活環境教育群)	社会環境ケア論	3前	2	1							1	
	住環境ケア論	3後	2	1								
	ケア環境デザイン学	3後	2								2	
	生活支援デザイン学	3前	2	1								
	福祉テクノロジー	3前	2								1	
	ケアのコミュニティ学	3後	2	1								
	地域福祉論Ⅱ	2後	2	1	1							
	健康まちづくり論	3後	2						0			1
	小計(8科目)	—	0	16	0	2	1	0	0	0	0	5
	発展科目Ⅳ (マネジメント教育群)	福祉公共政策論	3前	2								1
		ケア財源・負担論	3後	2	1							
		自治体福祉論	3前	2	1							
病院・施設管理論		3後	2	1								
経営学		3前	2								1	
地域・プレメディカル産業論		3後	2								1	
非営利組織論		2後	2						1			
ソーシャル・ビジネス論		3前	2						1			
マーケティング論		3後	2								1	
小計(9科目)		—	0	18	0	3	0	1	0	0	0	4
専門科目 展開科目	社会福祉原論	3前	2		1						1	
	地域包括ケア論	4前	1								0	
	災害福祉論	4前	2						0			
	ケア労働・職業論	4後	2		1							
	ヒューマンケア専門演習Ⅰ	3前	2		8	4	6			5		
	ヒューマンケア専門演習Ⅱ	3後	2		8	4	6			5		
	CBL総合演習・実習	3後~4前	2		3	1	2			1		
	卒業課題研究	4通	4		8	4	6			5		
小計(8科目)	—	10	7	0	8	4	4	0	0	0	0	
自由科目	ソーシャルワーク演習Ⅴ	4前		2	2	2	2				1	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2後		2	1	2	2	1	1	1	1	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3前		1	1	2	2	1	1	1	1	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	3後		1	1	2	2	1	1	1	1	
	ソーシャルワーク実習	3通		6	1	2	2	1	1	1	1	
	精神医学Ⅱ	3後		2	2						1	
	精神保健福祉論Ⅲ	3後		2	1							
	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ	3後		2	1	1						
	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ	4前		2	1	1						
	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	3後		1	1	1					1	
	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	4通		1	1	1					1	
	精神保健ソーシャルワーク実習	4通		5	1	1					1	
	小計(12科目)	—	0	0	27	3	3	3	1	1	2	
	合計(151科目)	—	70	171	31	9	4	6	5	1	1	69

卒業要件及び履修方法

必修科目70単位、基盤教育科目の選択科目から13単位以上、専門科目の基礎科目の選択科目から10単位以上、基幹科目の選択科目から20単位以上、発展科目の選択科目から16単位以上、展開科目の選択科目から2単位以上を修得し、131単位以上修得すること。なお、発展科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳについては、主専攻の教育群から8単位、主専攻以外の教育群から各2単位、さらに全ての教育群から2単位以上を修得しなければならない。(履修科目の登録の上限：年間48単位)

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基盤教育科目	ひと・生命の広がりに	人間関係とコミュニケーション	1前	2								1	
		信仰と文化	1後	2								2	
		ケアと人権	1前	1					1			2	
		足と健康 基本	1前	1								2	
		人間存在と世界観	1・2・3・4前	2								1	
		宇宙と生命の起源	1・2・3・4前	1								1	
		小計(6科目)	—	1	8	0	0	0	0	1	0	7	
	ひとと文化の多様性	国際事情と社会貢献	1前	1									2
		多文化理解	1・2・3・4前	1									1
		ジェンダー論	1・2・3・4前	1					1				1
		文学	1・2・3・4前	1									1
		芸術学	1・2・3・4前	1									1
		アジア事情	1・2・3・4前	1					1				1
		小計(6科目)	—	0	6	0	0	0	2	0	0	0	6
	ひとと社会生活	信州・佐久学	1前	1									2
		消費と経済活動	1・2・3・4前	1									1
		契約と社会のルール	1・2・3・4前	1									1
		ボランティア・住民活動論	1・2・3・4後	2									2
		個と集団	1・2・3・4前	1					1				2
小計(5科目)	—	1	5	0	0	0	1	0	0	0	6		
学びと自己変容	表現技法 I	1前	1									2	
	野外活動論	1・2・3・4前	1									1	
	災害ボランティア	2・3・4前	1					0				1	
	入門演習	1前	2			3	1	3	1			1	
	CBL実習 I	1前	2			1	1	2	1			1	
	CBL実習 II	1通	1			1	1	2	1			2	
	小計(6科目)	—	5	3	0	3	1	3	1	0	0	6	
ひとと情報	コンピュータの基礎演習	1前	1									1	
	情報管理法	2前	1									1	
	小計(2科目)	—	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
ひとと世界	英語 I	1前	1									1	
	英語 II	1後	1									1	
	中国語 I	1・2・3・4前	1									1	
	中国語 II	1・2・3・4後		1								1	
	韓国語 I	1・2・3・4前	1									1	
	韓国語 II	1・2・3・4後		1								1	
	医療・ケア英会話	3・4前		1								1	
	医療・ケア中国語	3・4前		1								1	
小計(8科目)	—	2	2	4	0	0	0	0	0	0	4		
基礎科目 I	ヒューマンケア概論 I	1後	2			1						3	
	生命倫理	1後	2									1	
	佐久の医療とケアの歴史	1前	1									1	
	生活習慣と健康	1前	2									1	
	食と健康	1後	2									1	
	運動と健康 I	1・2・3・4前	2									1	
	運動と健康 II	1・2・3・4後	2									1	
小計(7科目)	—	5	8	0	1	0	0	0	0	0	6		
基礎科目 II	ヒューマンケア概論 II	2前	2			1						1	
	社会福祉の歴史	2前	2									1	
	社会保障論 I	1後	2			1						1	
	社会福祉論	1前	2			2						1	
	社会福祉法制論	2前	2			1						1	
	ソーシャルワーク入門	1後	2						1			1	
	地域福祉論 I	1後	2			1						1	
	ケアワーク論	2前	2									1	
	ヒューマンケア基礎実習	1後	1			1	1	2				1	
	ケアワーク演習・実習	2後	2			1	1	2				2	
小計(10科目)	—	19	0	0	6	1	4	1	0	0	4		

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
基礎 科目 Ⅲ	法学(日本国憲法含む)	1・2後		2								1	
	経済学	2前		2		1						1	
	心理学	1後		2								1	
	社会学	1後		2			1	1					
	家族社会学	1・2後		2				1					
	生活学原論	2後	2			1							
	医学概論	2前	2									3	
	基礎統計法	2前	2									1	
	小計(8科目)	—	4	12	0	2	1	1	0	0	0	6	
	基礎 科目 Ⅰ	高齢者福祉論Ⅰ	1後	2			1						
高齢者福祉論Ⅱ		2後	2			1		1					
障害の福祉学Ⅰ		1後	2									1	
障害の福祉学Ⅱ		2後	2				1	1					
児童福祉論Ⅰ		1後	2				1						
児童福祉論Ⅱ		2後	2				1					1	
女性福祉論		2後	2									1	
貧困の福祉学Ⅰ		1後	2			1							
小計(8科目)		—	8	8	0	3	2	1	0	0	0	3	
基礎 科目 Ⅱ	ヒューマンケア調査論	2後	2				1	1					
	ヒューマンケア調査実習	3前	2				1	2					
	ヒューマンケア情報論	2後	2									1	
	データ解析法	2後	2									1	
	質的研究法	3前	2			1		1					
	ソーシャルワーク論Ⅰ	2前	2					1					
	ソーシャルワーク論Ⅱ	2後	2					1					
	ソーシャルワーク論Ⅲ	3前	2					1					
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2前	2			2	1	2	1			1	
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2後	2			2	1	2	1			1	
小計(10科目)	—	8	12	0	2	2	5	1	0	0	3		
専門 科目	基礎 科目 Ⅲ	看護ケア論	2前	2								2	
		福祉臨床論	3前	2									1
		発達心理学	2前	2									1
		社会保障論Ⅱ	2前	2			1						
		保健医療福祉制度論	2後	2			1						
		福祉サービス論	2前	2			1						
		国際福祉論	2後	2					1				1
		地域保健学	3前	2									1
		精神医学Ⅰ	3前	2									1
		リハビリテーション論	2前	2									1
		ヘルス・プロモーション論	2後	2									1
		貧困の福祉学Ⅱ	2後	2			1		1				
		多職種連携	2前	1									2
		司法福祉論	2前	2									1
		ケア福祉行政論	3後	2									1
		生活援助学	2前	2									3
		ソーシャルワーク論Ⅴ	4前	2									1
		ソーシャルワーク演習Ⅲ	3前	2			2	2	2				1
		ソーシャルワーク演習Ⅳ	3後	2			2	2	2				1
小計(19科目)	—	6	31	0	5	2	3	0	0	0	17		
発展 科目 Ⅰ (福祉 臨床 教育 群)	児童養護論	3前		2			1						
	臨床心理学	3前		2								1	
	老年心理学	3後		2		1							
	家族臨床学	3後		2								1	
	老年学	2後		2								1	
	障害学	3前		2								1	
	認知症ケア論Ⅰ	3前		2		1						2	
	リスクマネジメント論	3後		1				0				1	
	ソーシャルワーク論Ⅳ	3後		2			1						
	精神保健ソーシャルワーク論	3前		2		1							
小計(10科目)	—	0	19	0	2	2	0	0	0	0	7		
発展 科目 Ⅱ (医療 福祉 教育 群)	医療ソーシャルワーク論	3前		2								1	
	医療支援ネットワーク論	3後		1				1					
	認知症ケア論Ⅱ	3後		2								2	
	ターミナルケア論	3後		1								1	
	精神保健学Ⅰ	3前		2								1	
	精神保健学Ⅱ	3後		2								1	
	精神保健福祉論Ⅰ	2後		2			1						
	精神保健福祉論Ⅱ	3前		2			1						
	カウンセリング	3後		1								1	
小計(9科目)	—	0	15	0	0	1	1	0	0	0	6		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	発展科目Ⅲ (生活環境教育群)	社会環境ケア論	3前	2		1						1	
		住環境ケア論	3後	2		1							
		ケア環境デザイン学	3後	2								2	
		生活支援デザイン学	3前	2		1							
		福祉テクノロジー	3前	2								1	
		ケアのコミュニティ学	3後	2		1							
		地域福祉論Ⅱ	2後	2		1	1						
		健康まちづくり論	3後	2					0				1
	小計(8科目)	—	0	16	0	2	1	0	0	0	0	5	
	発展科目Ⅳ (マネジメント教育群)	福祉公共政策論	3前	2									1
		ケア財源・負担論	3後	2		1							
		自治体福祉論	3前	2		1							
		病院・施設管理論	3後	2		1							
		経営学	3前	2									1
		地域・プレメディカル産業論	3後	2									1
		非営利組織論	2後	2					1				
		ソーシャル・ビジネス論	3前	2					1				
		マーケティング論	3後	2									1
	小計(9科目)	—	0	18	0	3	0	1	0	0	0	4	
展開科目	社会福祉原論	3前	2			1							
	地域包括ケア論	4前	1									1	
	災害福祉論	4前	2						0				
	ケア労働・職業論	4後	2			1							
	ヒューマンケア専門演習Ⅰ	3前	2			8	4		5				
	ヒューマンケア専門演習Ⅱ	3後	2			8	4		5				
	CBL総合演習・実習	3後～4前	2			3	1		1				
	卒業課題研究	4通	4			8	4		5				
小計(8科目)	—	10	7	0	8	4	5	0	0	0	1		
自由科目	ソーシャルワーク演習Ⅴ	4前			2	2	2					1	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2後			2	1	2	2	1	1		1	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3前			1	1	2	2	1	1		1	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	3後			1	1	2	2	1	1		1	
	ソーシャルワーク実習	2後～3通			6	1	2	2	1	1		1	
	精神医学Ⅱ	3後			2							1	
	精神保健福祉論Ⅲ	3後			2	1							
	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ	3後			2	1	1						
	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ	4前			2	1	1						
	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	3後			1	1	1				1		
	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	4通			1	1	1				1		
	精神保健ソーシャルワーク実習	4通			5	1	1				1		
小計(12科目)	—	0	0	27	3	3	2	1	1	1	2		
合計(151科目)	—	70	171	31	9	4	5	1	1	1	66		

卒業要件及び履修方法

必修科目70単位、基盤教育科目の選択科目から13単位以上、専門科目の基礎科目の選択科目から10単位以上、基幹科目の選択科目から20単位以上、発展科目の選択科目から16単位以上、展開科目の選択科目から2単位以上を修得し、131単位以上修得すること。なお、発展科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳについては、主専攻の教育群から8単位、主専攻以外の教育群から各2単位、さらに全ての教育群から2単位以上を修得しなければならない。(履修科目の登録の上限：年間48単位)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

<p><配当年次の見直しによる変更></p> <ul style="list-style-type: none">・授業内容及び他の科目との関連性を考慮し、「ソーシャルワーク実習」の配当年次を「3通」から「2後～3通」に変更。 <p><認可時の附帯事項（遵守事項）への対応による変更></p> <ul style="list-style-type: none">・「ケアワーク演習・実習」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。 <p><講師1名の就任辞退（未就任）による変更></p> <ul style="list-style-type: none">・「災害ボランティア」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。・「入門演習」の専任教員等の配置を「講師4、兼任・兼任0」から「講師3、兼任・兼任1」に変更。・「CBL実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師3、兼任・兼任0」から「講師2、兼任・兼任1」に変更。・「CBL実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師3、兼任・兼任1」から「講師2、兼任・兼任2」に変更。・「ヒューマンケア基礎実習」の専任教員等の配置を「講師3、兼任・兼任0」から「講師2、兼任・兼任1」に変更。・「ケアワーク演習・実習」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師2」に変更。・「ヒューマンケア調査論」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更。・「ヒューマンケア調査実習」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師2」に変更。・「リスクマネジメント論」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。・「健康まちづくり論」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。・「災害福祉論」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。・「ヒューマンケア専門演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師6」から「講師5」に変更。・「ヒューマンケア専門演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師6」から「講師5」に変更。・「CBL総合演習・実習」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更。・「卒業課題研究」の専任教員等の配置を「講師6」から「講師5」に変更。 <p><オムニバス方式の見直しによる変更></p> <ul style="list-style-type: none">・「人間関係とコミュニケーション」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
--

【令和4年度】

<p><講師1名の就任辞退（未就任）による変更></p> <ul style="list-style-type: none">・「災害ボランティア」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」に変更。・「ヒューマンケア調査論」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1」から「准教授1、講師1、兼任・兼任1」に変更。・「ヒューマンケア調査実習」の専任教員等の配置を「准教授1、講師2」から「准教授1、講師2、兼任・兼任1」に変更。 <p><兼任・兼任教員の科目担当辞退による変更></p> <ul style="list-style-type: none">・「表現技法Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。・「ターミナルケア論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。・「地域包括ケア論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。 <p><担当教員の追加による変更> ※令和4年2月教員審査済</p> <ul style="list-style-type: none">・「ソーシャルワーク演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」に変更。・「ソーシャルワーク演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」に変更。・「ソーシャルワーク演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」に変更。・「ソーシャルワーク演習Ⅳ」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」に変更。・「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」に変更。・「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」に変更。・「ソーシャルワーク実習指導Ⅲ」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」に変更。・「ソーシャルワーク実習」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
38 科目	97 科目	16 科目	151 科目	38 科目 [0]	97 科目 [0]	16 科目 [0]	151 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						「該当なし」
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						「該当なし」
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{151} = \boxed{0.00}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	佐久大学信州短期大学部（必要面積1,000㎡）と共用 運動場 借用面積：2,639㎡ 借用期間：30年 駐車場 借用面積：3,468㎡ 借用期間：30年		
	校舎敷地	0㎡	21,009㎡	0㎡	21,009㎡			
	運動場用地	0㎡	37,230㎡	0㎡	37,230㎡			
	小 計	0㎡	58,239㎡	0㎡	58,239㎡			
	そ の 他	0㎡	16,787㎡	0㎡	16,787㎡			
	合 計	0㎡	75,026㎡	0㎡	75,026㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	佐久大学信州短期大学部（必要面積1,600㎡）と共用			
	3,363㎡ (3,363㎡)	10,614㎡ (10,614㎡)	456㎡ (456㎡)	14,433㎡ (14,433㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 情報処理学習施設は語学学習施設を兼ねる		
	16室	14室	3室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	人間福祉学部			23 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 27,858冊 27,482冊 共用図書の増加及び人間福祉学部の専門図書拡充に伴う変更(3)
	人間福祉学部	30,348 [4,044] 29,935 [4,039] (30,348 [4,044]) (29,935 [4,039])	33 [9] 30 [6] (33 [9]) (30 [6])	9 [9] 3 [3] (9 [9]) (3 [3])	1,027 1,007 (1,027) (1,007)	— (—)	— (—)	
	計	30,348 [4,044] 29,935 [4,039] (30,348 [4,044]) (29,935 [4,039])	33 [9] 30 [6] (33 [9]) (30 [6])	9 [9] 3 [3] (9 [9]) (3 [3])	1,027 1,007 (1,027) (1,007)	— (—)	— (—)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		図書事務室、貸出カウンター、書架の面積が含まれていなかったため(3)	
	526.86㎡ 443.52㎡		71		57,150			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	654㎡		ゴルフ練習場 —					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費は、電子ジャーナル、データベース、その他の経費（運用コストを含む。）を含む。
		教員1人当たり研究費等	250千円	250千円	図書購入費	16,000千円	2,000千円	
	共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	100,000千円	29,000千円	3,000千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次 1,330千円	第2年次 1,100千円	第3年次 1,100千円	第4年次 1,100千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要	雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	佐久大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
看護学部	年	人	年次人	人		倍	倍				
看護学科	4	90	-	360	学士(看護学)	1.00	0.97	-	平成20	長野県佐久市岩村田2384番地	
人間福祉学部											
人間福祉学科	4	70	3年次10	300	学士(社会福祉学)	0.47	0.54	-	令和3	同上	
大学全体	-	160	10	660	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	佐久大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
看護学研究科	年	人	年次人	人		倍	倍				
看護学専攻(修士課程)	2	10	-	20	修士(看護学)	0.85	1.00	-	平成24	長野県佐久市岩村田2384番地	
大学院全体	-	10	-	20	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	佐久大学信州短期大学部						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
福祉学科	年	人	年次人	人		倍	倍				
介護福祉専攻	2	25	-	50	短期大学士(福祉)	0.80	0.44	-	令和3	長野県佐久市岩村田2384番地	学科の専攻課程の設置(3)
子ども福祉専攻	2	25	-	50	短期大学士(福祉)	0.84	1.08	-	令和3	同上	学科の専攻課程の設置(3)
短期大学全体	-	50	-	100	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人間福祉学部 人間福祉学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	佐藤 嘉夫 <令和3年4月> 法学修士※	専	教授	佐藤 嘉夫 <令和3年4月> 法学修士※	専	教授	佐藤 嘉夫 <令和3年4月> 法学修士※
		社会福祉論※ 生活学原論 高齢者福祉論 I 福祉サービス論 社会福祉原論 ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II 卒業課題研究			社会福祉論※ 生活学原論 高齢者福祉論 I 福祉サービス論 社会福祉原論 ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II 卒業課題研究			社会福祉論※ 生活学原論 高齢者福祉論 I 福祉サービス論 社会福祉原論 ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II 卒業課題研究
専	教授 (学部長)	野口 定久 <令和3年4月> 博士(社会福祉学)	専	教授 (学部長)	野口 定久 <令和3年4月> 博士(社会福祉学)	専	教授 (学部長)	野口 定久 <令和3年4月> 博士(社会福祉学)
		入門演習 CBL実習 I CBL実習 II 地域福祉論 I ケアのコミュニティ学 地域福祉論 II※ 自治体福祉論 ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II CBL総合演習・実習 卒業課題研究			入門演習 CBL実習 I CBL実習 II 地域福祉論 I ケアのコミュニティ学 地域福祉論 II※ 自治体福祉論 ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II CBL総合演習・実習 卒業課題研究			入門演習 CBL実習 I CBL実習 II 地域福祉論 I ケアのコミュニティ学 地域福祉論 II※ 自治体福祉論 ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II CBL総合演習・実習 卒業課題研究
専	教授	青木 紀 <令和3年4月> 農学博士	専	教授	青木 紀 <令和3年4月> 農学博士	専	教授	青木 紀 <令和3年4月> 農学博士
		ヒューマンケア概論 I ヒューマンケア概論 II ケア労働・職業論 ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II 卒業課題研究			ヒューマンケア概論 I ヒューマンケア概論 II ケア労働・職業論 ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II 卒業課題研究			ヒューマンケア概論 I ヒューマンケア概論 II ケア労働・職業論 ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II 卒業課題研究
専	教授	狩野 徹 <令和5年4月> 工学博士	専	教授	狩野 徹 <令和5年4月> 工学博士	専	教授	狩野 徹 <令和5年4月> 工学博士
		社会環境ケア論※ 住環境ケア論 生活支援デザイン学 ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II CBL総合演習・実習 卒業課題研究			社会環境ケア論※ 住環境ケア論 生活支援デザイン学 ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II CBL総合演習・実習 卒業課題研究			社会環境ケア論※ 住環境ケア論 生活支援デザイン学 ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II CBL総合演習・実習 卒業課題研究
専	教授	小山 秀夫 <令和4年9月> 博士(医療福祉学)	専	教授	小山 秀夫 <令和4年9月> 博士(医療福祉学)	専	教授	小山 秀夫 <令和4年4月> 博士(医療福祉学)
		保健医療福祉制度論 病院・施設管理論 ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II 卒業課題研究			保健医療福祉制度論 病院・施設管理論 ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II 卒業課題研究			保健医療福祉制度論 病院・施設管理論 ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II 卒業課題研究
専	教授	唐鎌 直義 <令和3年9月> 経済学修士※	専	教授	唐鎌 直義 <令和3年4月> 経済学修士※	専	教授	唐鎌 直義 <令和3年4月> 経済学修士※
		社会保障論 I 経済学 社会保障論 II ケア財源・負担論 ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II 卒業課題研究			社会保障論 I 経済学 社会保障論 II ケア財源・負担論 ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II 卒業課題研究			社会保障論 I 経済学 社会保障論 II ケア財源・負担論 ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II 卒業課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学科長)	下村 幸仁 <令和3年4月> 学術修士
		入門演習 社会福祉論※ 社会福祉法制論 貧困の福祉学Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ 貧困の福祉学Ⅱ※ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ ヒューマンケア専門演習Ⅰ ヒューマンケア専門演習Ⅱ 卒業課題研究 ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習
専	教授	江間(北川) 由紀夫 <令和4年4月> 修士(臨床福祉学)※
		精神保健ソーシャルワーク論 精神保健福祉論Ⅲ 精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ 精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ 精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 精神保健ソーシャルワーク実習
専	教授	島田(豊島) 千穂 <令和3年4月> 博士(保健学)
		入門演習 ヒューマンケア基礎実習 ケアワーク演習・実習 高齢者福祉論Ⅱ※ 質的研究法※ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ 老年心理学 認知症ケア論Ⅰ※ ヒューマンケア専門演習Ⅰ ヒューマンケア専門演習Ⅱ CBL総合演習・実習 卒業課題研究 ソーシャルワーク演習Ⅴ
専	准教授	佐藤 園美 <令和3年4月> 修士(臨床福祉学)
		障害の福祉学Ⅱ※ 精神保健福祉論Ⅰ 精神保健福祉論Ⅱ ヒューマンケア専門演習Ⅰ ヒューマンケア専門演習Ⅱ 卒業課題研究 精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ 精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ 精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 精神保健ソーシャルワーク実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学科長)	下村 幸仁 <令和3年4月> 学術修士
		入門演習 社会福祉論※ 社会福祉法制論 貧困の福祉学Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ 貧困の福祉学Ⅱ※ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ ヒューマンケア専門演習Ⅰ ヒューマンケア専門演習Ⅱ 卒業課題研究 ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習
専	教授	江間(北川) 由紀夫 <令和4年4月> 修士(臨床福祉学)※
		精神保健ソーシャルワーク論 精神保健福祉論Ⅲ 精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ 精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ 精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 精神保健ソーシャルワーク実習
専	教授	島田(豊島) 千穂 <令和3年4月> 博士(保健学)
		入門演習 ヒューマンケア基礎実習 ケアワーク演習・実習 高齢者福祉論Ⅱ※ 質的研究法※ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ 老年心理学 認知症ケア論Ⅰ※ ヒューマンケア専門演習Ⅰ ヒューマンケア専門演習Ⅱ CBL総合演習・実習 卒業課題研究 ソーシャルワーク演習Ⅴ
専	准教授	佐藤 園美 <令和3年4月> 修士(臨床福祉学)
		障害の福祉学Ⅱ※ 精神保健福祉論Ⅰ 精神保健福祉論Ⅱ ヒューマンケア専門演習Ⅰ ヒューマンケア専門演習Ⅱ 卒業課題研究 精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ 精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ 精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 精神保健ソーシャルワーク実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学科長)	下村 幸仁 <令和3年4月> 学術修士
		入門演習 社会福祉論※ 社会福祉法制論 貧困の福祉学Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ 貧困の福祉学Ⅱ※ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ ヒューマンケア専門演習Ⅰ ヒューマンケア専門演習Ⅱ 卒業課題研究 ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習
専	教授	江間(北川) 由紀夫 <令和4年4月> 修士(臨床福祉学)※
		精神保健ソーシャルワーク論 精神保健福祉論Ⅲ 精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ 精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ 精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 精神保健ソーシャルワーク実習
専	教授	島田(豊島) 千穂 <令和3年4月> 博士(保健学)
		入門演習 ヒューマンケア基礎実習 ケアワーク演習・実習 高齢者福祉論Ⅱ※ 質的研究法※ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ 老年心理学 認知症ケア論Ⅰ※ ヒューマンケア専門演習Ⅰ ヒューマンケア専門演習Ⅱ CBL総合演習・実習 卒業課題研究 ソーシャルワーク演習Ⅴ
専	准教授	佐藤 園美 <令和3年4月> 修士(臨床福祉学)
		障害の福祉学Ⅱ※ 精神保健福祉論Ⅰ 精神保健福祉論Ⅱ ヒューマンケア専門演習Ⅰ ヒューマンケア専門演習Ⅱ 卒業課題研究 精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ 精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ 精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 精神保健ソーシャルワーク実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高松 誠 <令和3年4月> 博士(社会福祉学)
		ヒューマンケア基礎実習 ケアワーク演習・実習 児童福祉論Ⅰ 児童福祉論Ⅱ※ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ 児童養護論 ヒューマンケア専門演習Ⅰ ヒューマンケア専門演習Ⅱ 卒業課題研究 ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習
		長谷川 武史 <令和3年4月> 修士(社会福祉学)※
		ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク論Ⅳ 地域福祉論Ⅱ※ ヒューマンケア専門演習Ⅰ ヒューマンケア専門演習Ⅱ 卒業課題研究 ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習
		関谷 龍子 <令和3年4月> 社会学修士※
		入門演習 CBL実習Ⅰ CBL実習Ⅱ 社会学※ ヒューマンケア調査論※ ヒューマンケア調査実習 ヒューマンケア専門演習Ⅰ ヒューマンケア専門演習Ⅱ CBL総合演習・実習 卒業課題研究
		林 宏二 <令和3年4月> 修士(社会福祉学)
		入門演習 ケアワーク演習・実習 高齢者福祉論Ⅱ※ 障害の福祉学Ⅱ※ ソーシャルワーク論Ⅲ ヒューマンケア専門演習Ⅰ ヒューマンケア専門演習Ⅱ 卒業課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高松 誠 <令和3年4月> 博士(社会福祉学)
		ヒューマンケア基礎実習 ケアワーク演習・実習 児童福祉論Ⅰ 児童福祉論Ⅱ※ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ 児童養護論 ヒューマンケア専門演習Ⅰ ヒューマンケア専門演習Ⅱ 卒業課題研究 ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習
		長谷川 武史 <令和3年4月> 修士(社会福祉学)※
		ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク論Ⅳ 地域福祉論Ⅱ※ ヒューマンケア専門演習Ⅰ ヒューマンケア専門演習Ⅱ 卒業課題研究 ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習
		関谷 龍子 <令和3年4月> 社会学修士※
		入門演習 CBL実習Ⅰ CBL実習Ⅱ 社会学※ ヒューマンケア調査論※ ヒューマンケア調査実習 ヒューマンケア専門演習Ⅰ ヒューマンケア専門演習Ⅱ CBL総合演習・実習 卒業課題研究
		林 宏二 <令和3年4月> 修士(社会福祉学)
		入門演習 ケアワーク演習・実習 高齢者福祉論Ⅱ※ 障害の福祉学Ⅱ※ ソーシャルワーク論Ⅲ ヒューマンケア専門演習Ⅰ ヒューマンケア専門演習Ⅱ 卒業課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高松 誠 <令和3年4月> 博士(社会福祉学)
		ヒューマンケア基礎実習 ケアワーク演習・実習 児童福祉論Ⅰ 児童福祉論Ⅱ※ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ 児童養護論 ヒューマンケア専門演習Ⅰ ヒューマンケア専門演習Ⅱ 卒業課題研究 ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習
		長谷川 武史 <令和3年4月> 修士(社会福祉学)※
		ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク論Ⅳ 地域福祉論Ⅱ※ ヒューマンケア専門演習Ⅰ ヒューマンケア専門演習Ⅱ 卒業課題研究 ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習
		関谷 龍子 <令和3年4月> 社会学修士※
		入門演習 CBL実習Ⅰ CBL実習Ⅱ 社会学※ ヒューマンケア調査論※ ヒューマンケア調査実習 ヒューマンケア専門演習Ⅰ ヒューマンケア専門演習Ⅱ CBL総合演習・実習 卒業課題研究
		林 宏二 <令和3年4月> 修士(社会福祉学)
		入門演習 ケアワーク演習・実習 高齢者福祉論Ⅱ※ 障害の福祉学Ⅱ※ ソーシャルワーク論Ⅲ ヒューマンケア専門演習Ⅰ ヒューマンケア専門演習Ⅱ 卒業課題研究 ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	脇山 園恵 <令和3年4月> 修士(社会福祉学)※
		ケアワーク演習・実習 ソーシャルワーク論 I ソーシャルワーク演習 I ソーシャルワーク演習 II 貧困の福祉学 II ※ ソーシャルワーク演習 III ソーシャルワーク演習 IV ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II 卒業課題研究 ソーシャルワーク演習 V ソーシャルワーク実習指導 I ソーシャルワーク実習指導 II ソーシャルワーク実習指導 III ソーシャルワーク実習
専	講師	李 省翰 <令和3年4月> 博士(社会福祉学)
		アジア事情※ 入門演習 CBL実習 I CBL実習 II ヒューマンケア基礎実習 ヒューマンケア調査実習 ソーシャルワーク演習 I ソーシャルワーク演習 II 国際福祉論※ 非営利組織論 ソーシャル・ビジネス論 ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II 卒業課題研究
専	講師	渡邊 圭 <令和3年4月> 博士(社会福祉学)
		災害ボランティア 入門演習 CBL実習 I CBL実習 II ヒューマンケア基礎実習 ケアワーク演習・実習 ヒューマンケア調査論※ ヒューマンケア調査実習 リスクマネジメント論※ 健康まちづくり論※ 災害福祉論 ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II CBL総合演習・実習 卒業課題研究
専	講師	阿部 友香 <令和3年4月> 修士(文学)※
		ジェンダー論 個と集団 入門演習 CBL実習 I CBL実習 II 社会学※ 家族社会学 ヒューマンケア調査論※ ヒューマンケア調査実習 質的研究法※ ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II CBL総合演習・実習 卒業課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	脇山 園恵 <令和3年4月> 修士(社会福祉学)※
		ケアワーク演習・実習 ソーシャルワーク論 I ソーシャルワーク演習 I ソーシャルワーク演習 II 貧困の福祉学 II ※ ソーシャルワーク演習 III ソーシャルワーク演習 IV ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II 卒業課題研究 ソーシャルワーク演習 V ソーシャルワーク実習指導 I ソーシャルワーク実習指導 II ソーシャルワーク実習指導 III ソーシャルワーク実習
専	講師	李 省翰 <令和3年4月> 博士(社会福祉学)
		アジア事情※ 入門演習 CBL実習 I CBL実習 II ヒューマンケア基礎実習 ヒューマンケア調査実習 ソーシャルワーク演習 I ソーシャルワーク演習 II 国際福祉論※ 非営利組織論 ソーシャル・ビジネス論 ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II 卒業課題研究
専	講師	阿部 友香 <令和3年4月> 修士(文学)※
		ジェンダー論 個と集団 入門演習 CBL実習 I CBL実習 II 社会学※ 家族社会学 ヒューマンケア調査論※ ヒューマンケア調査実習 質的研究法※ ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II CBL総合演習・実習 卒業課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	脇山 園恵 <令和3年4月> 修士(社会福祉学)※
		ケアワーク演習・実習 ソーシャルワーク論 I ソーシャルワーク演習 I ソーシャルワーク演習 II 貧困の福祉学 II ※ ソーシャルワーク演習 III ソーシャルワーク演習 IV ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II 卒業課題研究 ソーシャルワーク演習 V ソーシャルワーク実習指導 I ソーシャルワーク実習指導 II ソーシャルワーク実習指導 III ソーシャルワーク実習
専	講師	李 省翰 <令和3年4月> 博士(社会福祉学)
		アジア事情※ 入門演習 CBL実習 I CBL実習 II ヒューマンケア基礎実習 ヒューマンケア調査実習 ソーシャルワーク演習 I ソーシャルワーク演習 II 国際福祉論※ 非営利組織論 ソーシャル・ビジネス論 ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II 卒業課題研究
専	講師	阿部 友香 <令和3年4月> 修士(文学)※
		ジェンダー論 個と集団 入門演習 CBL実習 I CBL実習 II 社会学※ 家族社会学 ヒューマンケア調査論※ ヒューマンケア調査実習 質的研究法※ ヒューマンケア専門演習 I ヒューマンケア専門演習 II CBL総合演習・実習 卒業課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	野坂 洋子 <令和3年4月> 修士(社会福祉学)※
		ヒューマンケア基礎実習 ソーシャルワーク論Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ 医療支援ネットワーク論 ヒューマンケア専門演習Ⅰ ヒューマンケア専門演習Ⅱ 卒業課題研究 ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習
		上西 一貴 <令和3年4月> 修士(ソーシャルワーク)
		ケアと人権 入門演習 CBL実習Ⅰ CBL実習Ⅱ ソーシャルワーク入門 ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習
		坂江 千寿子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		足と健康 基本※
		八尋 道子 <令和4年4月> 修士(看護学)
		看護ケア論※
		佐藤 美由紀 <令和6年4月> 博士(老年学)
		地域包括ケア論
安川 揚子 <令和4年4月> 修士(社会学)		
多職種連携 ターミナルケア論		
東田 吉子 <令和3年4月> 健康科学博士		
国際事情と社会貢献※		
中嶋 智子 <令和3年4月> 修士(看護学)		
ボランティア・住民活動論※ CBL実習Ⅱ ヒューマンケア情報論		
武田 貴美子 <令和4年4月> 博士(看護学)		
看護ケア論※		
朴 相俊 <令和3年4月> 博士(環境共生学)		
情報管理法 韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 生活習慣と健康 運動と健康Ⅰ 運動と健康Ⅱ データ解析法		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	野坂 洋子 <令和3年4月> 修士(社会福祉学)※
		ヒューマンケア基礎実習 ソーシャルワーク論Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ 医療支援ネットワーク論 ヒューマンケア専門演習Ⅰ ヒューマンケア専門演習Ⅱ 卒業課題研究 ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習
		上西 一貴 <令和3年4月> 修士(ソーシャルワーク)
		ケアと人権 入門演習 CBL実習Ⅰ CBL実習Ⅱ ソーシャルワーク入門 ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習
		坂江 千寿子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		足と健康 基本※
		八尋 道子 <令和4年4月> 修士(看護学)
		看護ケア論※
		佐藤 美由紀 <令和6年4月> 博士(老年学)
		地域包括ケア論
安川 揚子 <令和4年4月> 修士(社会学)		
多職種連携 ターミナルケア論		
東田 吉子 <令和3年4月> 健康科学博士		
国際事情と社会貢献※		
中嶋 智子 <令和3年4月> 修士(看護学)		
ボランティア・住民活動論※ CBL実習Ⅱ ヒューマンケア情報論		
武田 貴美子 <令和4年4月> 博士(看護学)		
看護ケア論※		
朴 相俊 <令和3年4月> 博士(環境共生学)		
情報管理法 韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 生活習慣と健康 運動と健康Ⅰ 運動と健康Ⅱ データ解析法		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	野坂 洋子 <令和3年4月> 修士(社会福祉学)※
		ヒューマンケア基礎実習 ソーシャルワーク論Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ 医療支援ネットワーク論 ヒューマンケア専門演習Ⅰ ヒューマンケア専門演習Ⅱ 卒業課題研究 ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習
		上西 一貴 <令和3年4月> 修士(ソーシャルワーク)
		ケアと人権 入門演習 CBL実習Ⅰ CBL実習Ⅱ ソーシャルワーク入門 ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習
		坂江 千寿子 <令和3年4月> 博士(看護学)
		足と健康 基本※
		八尋 道子 <令和4年4月> 修士(看護学)
		看護ケア論※ 多職種連携
		佐藤 美由紀 <令和6年4月> 博士(老年学)
		地域包括ケア論
安川 揚子 <令和4年4月> 修士(社会学)		
多職種連携 ターミナルケア論		
東田 吉子 <令和3年4月> 健康科学博士		
国際事情と社会貢献※		
中嶋 智子 <令和3年4月> 修士(看護学)		
ボランティア・住民活動論※ CBL実習Ⅱ ヒューマンケア情報論		
武田 貴美子 <令和4年4月> 博士(看護学)		
看護ケア論※		
朴 相俊 <令和3年4月> 博士(環境共生学)		
情報管理法 韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 生活習慣と健康 運動と健康Ⅰ 運動と健康Ⅱ データ解析法		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	柿澤 美奈子 ＜令和3年4月＞ 修士(保健学)
		佐久の医療とケアの歴史
兼任	准教授	内山 明子 ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		生活援助学※ リスクマネジメント論※
兼任	講師	宮原 香里 ＜令和3年4月＞ 保健学修士
		足と健康 基本※
兼任	講師	二神 真理子 ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		生活援助学※
兼任	講師	盛岡 正博 ＜令和3年9月＞ 医学修士
		生命倫理※ 医学概論※ 精神保健学 I 精神保健学 II
兼任	講師	菊池(小泉) 小百合 ＜令和5年4月＞ 社会福祉学修士
		認知症ケア論 I ※
兼任	講師	唐澤 千登勢 ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)
		認知症ケア論 I ※ 認知症ケア論 II ※
兼任	講師	廣橋 雅子 ＜令和3年4月＞ Master of Business Administration(台湾)
		アジア事情※ 医療・ケア中国語
兼任	講師	永野 淳子 ＜令和4年4月＞ 修士(社会福祉学)
		ケアワーク論 ケアワーク演習・実習 多職種連携 生活援助学※
兼任	講師	倉田 郁也 ＜令和3年4月＞ 修士(健康心理学)
		人間関係とコミュニケーション※ 発達心理学 カウンセリング
兼任	講師	三池 克明 ＜令和3年4月＞ 修士(工学)
		コンピュータの基礎演習
兼任	講師	宮内 克代 ＜令和3年4月＞ Master of Social Work(米国)
		人間関係とコミュニケーション※ ボランティア・住民活動論※
兼任	講師	金子 光代 ＜令和3年4月＞ 文学士
		表現技法 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	柿澤 美奈子 ＜令和3年4月＞ 修士(保健学)
		佐久の医療とケアの歴史
兼任	准教授	内山 明子 ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		生活援助学※ リスクマネジメント論※
兼任	講師	宮原 香里 ＜令和3年4月＞ 保健学修士
		足と健康 基本※
兼任	講師	二神 真理子 ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		生活援助学※
兼任	講師	盛岡 正博 ＜令和3年9月＞ 医学修士
		生命倫理※ 医学概論※ 精神保健学 I 精神保健学 II
兼任	講師	菊池(小泉) 小百合 ＜令和4年9月＞ 社会福祉学修士
		認知症ケア論 I ※ ケアワーク演習・実習
兼任	講師	唐澤 千登勢 ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)
		認知症ケア論 I ※ 認知症ケア論 II ※
兼任	講師	廣橋 雅子 ＜令和3年4月＞ Master of Business Administration(台湾)
		アジア事情※ 医療・ケア中国語
兼任	講師	永野 淳子 ＜令和3年4月＞ 修士(社会福祉学)
		ケアワーク論 ケアワーク演習・実習 多職種連携 生活援助学※ 入門演習
兼任	講師	倉田 郁也 ＜令和4年4月＞ 修士(健康心理学)
		発達心理学 カウンセリング
兼任	講師	三池 克明 ＜令和3年4月＞ 修士(工学)
		コンピュータの基礎演習
兼任	講師	宮内 克代 ＜令和3年4月＞ Master of Social Work(米国)
		人間関係とコミュニケーション ボランティア・住民活動論※
兼任	講師	金子 光代 ＜令和3年4月＞ 文学士
		表現技法 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	柿澤 美奈子 ＜令和3年4月＞ 修士(保健学)
		佐久の医療とケアの歴史
兼任	准教授	内山 明子 ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		生活援助学※ リスクマネジメント論※
兼任	講師	宮原 香里 ＜令和3年4月＞ 保健学修士
		足と健康 基本※
兼任	講師	二神 真理子 ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		生活援助学※
兼任	講師	盛岡 正博 ＜令和3年9月＞ 医学修士
		生命倫理※ 医学概論※ 精神保健学 I 精神保健学 II
兼任	講師	菊池(小泉) 小百合 ＜令和4年9月＞ 社会福祉学修士
		認知症ケア論 I ※ ケアワーク演習・実習
兼任	講師	唐澤 千登勢 ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)
		認知症ケア論 I ※ 認知症ケア論 II ※
兼任	講師	廣橋 雅子 ＜令和3年4月＞ Master of Business Administration(台湾)
		アジア事情※ 医療・ケア中国語
兼任	講師	永野 淳子 ＜令和3年4月＞ 修士(社会福祉学)
		ケアワーク論 ケアワーク演習・実習 多職種連携 生活援助学※ 入門演習
兼任	講師	倉田 郁也 ＜令和5年9月＞ 修士(健康心理学)
		カウンセリング
兼任	講師	三池 克明 ＜令和3年4月＞ 修士(工学)
		コンピュータの基礎演習
兼任	講師	宮内 克代 ＜令和3年4月＞ Master of Social Work(米国)
		人間関係とコミュニケーション ボランティア・住民活動論※
兼任	講師	金子 光代 ＜令和3年4月＞ 文学士
		表現技法 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宮入 宗乗 ＜令和3年9月＞ 高等学校卒 信仰と文化※
兼任	講師	Mark Cox ＜令和3年4月＞ Masters of Arts in Applied Linguistics(豪州) 英語 I 英語 II 医療・ケア英会話
兼任	講師	朱 芝虹(藝虹) ＜令和3年4月＞ 専門学校卒 中国語 I 中国語 II
兼任	講師	関 良徳 ＜令和3年4月＞ 博士(法学) 契約と社会のルール 法学(日本国憲法含む)
兼任	講師	駒村 哲 ＜令和3年4月＞ 法学修士 国際事情と社会貢献※
兼任	講師	風早 康恵 ＜令和3年4月＞ 文学修士、神道学修士 信仰と文化※ 表現技法 I
兼任	講師	高島 恭子 ＜令和3年9月＞ 修士(社会福祉学) 障害の福祉学 I 障害学
兼任	講師	尾島 万里 ＜令和4年9月＞ 修士(臨床心理学) 児童福祉論 II※ 家族臨床学
兼任	講師	野口 典子 ＜令和4年9月＞ 社会福祉学博士 国際福祉論※
兼任	講師	村島 隆太郎 ＜令和3年9月＞ 医学士 生命倫理※ 医学概論※
兼任	講師	廣瀬 健 ＜令和3年9月＞ 医学士 生命倫理※ 医学概論※
兼任	講師	坪根 徹 ＜令和3年4月＞ 高等学校卒 宇宙と生命の起源
兼任	講師	江口 建 ＜令和3年4月＞ 地球環境学博士 人間存在と世界観
兼任	講師	平尾 勇 ＜令和3年4月＞ 経済学修士 消費と経済活動

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宮入 宗乗 ＜令和3年9月＞ 高等学校卒 信仰と文化※
兼任	講師	Mark Cox ＜令和3年4月＞ Masters of Arts in Applied Linguistics(豪州) 英語 I 英語 II 医療・ケア英会話
兼任	講師	朱 芝虹(藝虹) ＜令和3年4月＞ 専門学校卒 中国語 I 中国語 II
兼任	講師	関 良徳 ＜令和3年4月＞ 博士(法学) 契約と社会のルール 法学(日本国憲法含む)
兼任	講師	駒村 哲 ＜令和3年4月＞ 法学修士 国際事情と社会貢献※
兼任	講師	風早 康恵 ＜令和3年4月＞ 文学修士、神道学修士 信仰と文化※ 表現技法 I
兼任	講師	高島 恭子 ＜令和3年9月＞ 修士(社会福祉学) 障害の福祉学 I 障害学
兼任	講師	尾島 万里 ＜令和4年9月＞ 修士(臨床心理学) 児童福祉論 II※ 家族臨床学
兼任	講師	野口 典子 ＜令和4年9月＞ 社会福祉学博士 国際福祉論※
兼任	講師	村島 隆太郎 ＜令和4年4月＞ 医学士 生命倫理※ 医学概論※
兼任	講師	廣瀬 健 ＜令和3年9月＞ 医学士 生命倫理※ 医学概論※
兼任	講師	坪根 徹 ＜令和3年4月＞ 高等学校卒 宇宙と生命の起源
兼任	講師	江口 建 ＜令和3年4月＞ 地球環境学博士 人間存在と世界観
兼任	講師	平尾 勇 ＜令和3年4月＞ 経済学修士 消費と経済活動

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宮入 宗乗 ＜令和3年9月＞ 高等学校卒 信仰と文化※
兼任	講師	Mark Cox ＜令和3年4月＞ Masters of Arts in Applied Linguistics(豪州) 英語 I 英語 II 医療・ケア英会話
兼任	講師	朱 芝虹(藝虹) ＜令和3年4月＞ 専門学校卒 中国語 I 中国語 II
兼任	講師	関 良徳 ＜令和3年4月＞ 博士(法学) 契約と社会のルール 法学(日本国憲法含む)
兼任	講師	駒村 哲 ＜令和3年4月＞ 法学修士 国際事情と社会貢献※
兼任	講師	風早 康恵 ＜令和3年4月＞ 文学修士、神道学修士 信仰と文化※ 表現技法 I
兼任	講師	高島 恭子 ＜令和3年9月＞ 修士(社会福祉学) 障害の福祉学 I 障害学
兼任	講師	尾島 万里 ＜令和4年9月＞ 修士(臨床心理学) 児童福祉論 II※ 家族臨床学
兼任	講師	野口 典子 ＜令和4年9月＞ 社会福祉学博士 国際福祉論※
兼任	講師	村島 隆太郎 ＜令和4年4月＞ 医学士 生命倫理※ 医学概論※
兼任	講師	廣瀬 健 ＜令和3年9月＞ 医学士 生命倫理※ 医学概論※
兼任	講師	坪根 徹 ＜令和3年4月＞ 高等学校卒 宇宙と生命の起源
兼任	講師	江口 建 ＜令和3年4月＞ 地球環境学博士 人間存在と世界観
兼任	講師	平尾 勇 ＜令和3年4月＞ 経済学修士 消費と経済活動

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	並木 功 ＜令和3年4月＞ 芸術学士
		芸術学
兼任	講師	芝山 豊 ＜令和3年4月＞ 文学修士
		多文化理解
兼任	講師	伊藤 光太郎 ＜令和3年4月＞ 高等学校卒
		野外活動論
兼任	講師	野口 友紀子 ＜令和4年4月＞ 博士(社会福祉学)
		社会福祉の歴史
兼任	講師	寺門 正顕 ＜令和3年9月＞ 修士(心理学)
		心理学
兼任	講師	生井(戸石) 裕子 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		臨床心理学
兼任	講師	芳賀 博 ＜令和4年4月＞ 医学博士
		基礎統計法 ヘルス・プロモーション論 老年学
兼任	講師	本間 昭 ＜令和5年4月＞ 医学博士
		精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ
兼任	講師	唐澤 剛 ＜令和5年9月＞ 政治学士
		ケア福祉行財政論
兼任	講師	岡田 真平 ＜令和5年4月＞ 教育学修士
		地域保健学
兼任	講師	伊東 元 ＜令和4年4月＞ 社会学修士
		リハビリテーション論
兼任	講師	繁田 雅弘 ＜令和5年4月＞ 医学博士
		認知症ケア論Ⅱ※
兼任	講師	佐藤 徹 ＜令和5年9月＞ 学士(芸術)
		ケア環境デザイン学※
兼任	講師	中林 鉄太郎 ＜令和5年9月＞ 専門学校卒
		ケア環境デザイン学※
兼任	講師	北沢 俊二 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		福祉テクノロジー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	並木 功 ＜令和3年4月＞ 芸術学士
		芸術学
兼任	講師	芝山 豊 ＜令和3年4月＞ 文学修士
		多文化理解
兼任	講師	伊藤 光太郎 ＜令和3年4月＞ 高等学校卒
		野外活動論
兼任	講師	野口 友紀子 ＜令和4年4月＞ 博士(社会福祉学)
		社会福祉の歴史
兼任	講師	寺門 正顕 ＜令和3年9月＞ 修士(心理学)
		心理学
兼任	講師	生井(戸石) 裕子 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		臨床心理学
兼任	講師	芳賀 博 ＜令和4年4月＞ 医学博士
		基礎統計法 ヘルス・プロモーション論 老年学
兼任	講師	本間 昭 ＜令和5年4月＞ 医学博士
		精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ
兼任	講師	唐澤 剛 ＜令和5年9月＞ 政治学士
		ケア福祉行財政論
兼任	講師	岡田 真平 ＜令和5年4月＞ 教育学修士
		地域保健学
兼任	講師	伊東 元 ＜令和4年4月＞ 社会学修士
		リハビリテーション論
兼任	講師	繁田 雅弘 ＜令和5年9月＞ 医学博士
		認知症ケア論Ⅱ※
兼任	講師	佐藤 徹 ＜令和5年9月＞ 学士(芸術)
		ケア環境デザイン学※
兼任	講師	中林 鉄太郎 ＜令和5年9月＞ 専門学校卒
		ケア環境デザイン学※
兼任	講師	北沢 俊二 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		福祉テクノロジー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	並木 功 ＜令和3年4月＞ 芸術学士
		芸術学
兼任	講師	伊藤 光太郎 ＜令和3年4月＞ 高等学校卒
		野外活動論
兼任	講師	野口 友紀子 ＜令和4年4月＞ 博士(社会福祉学)
		社会福祉の歴史
兼任	講師	寺門 正顕 ＜令和3年9月＞ 修士(心理学)
		心理学
兼任	講師	生井(戸石) 裕子 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		臨床心理学
兼任	講師	芳賀 博 ＜令和4年4月＞ 医学博士
		基礎統計法 ヘルス・プロモーション論 老年学
兼任	講師	本間 昭 ＜令和5年4月＞ 医学博士
		精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ
兼任	講師	唐澤 剛 ＜令和5年9月＞ 政治学士
		ケア福祉行財政論
兼任	講師	岡田 真平 ＜令和5年4月＞ 教育学修士
		地域保健学
兼任	講師	伊東 元 ＜令和4年4月＞ 社会学修士
		リハビリテーション論
兼任	講師	繁田 雅弘 ＜令和5年9月＞ 医学博士
		認知症ケア論Ⅱ※
兼任	講師	佐藤 徹 ＜令和5年9月＞ 学士(芸術)
		ケア環境デザイン学※
兼任	講師	中林 鉄太郎 ＜令和5年9月＞ 専門学校卒
		ケア環境デザイン学※
兼任	講師	北沢 俊二 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		福祉テクノロジー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小池(禎) 隆生 ＜令和5年4月＞ 博士(経済学) 福祉公共政策論
兼任	講師	坪井 明彦 ＜令和5年9月＞ 修士(経営学) マーケティング論
兼任	講師	米本 清 ＜令和5年9月＞ Ph.D.in Economics(米国) 地域・プレメディカル産業論
兼任	講師	藤本 哲 ＜令和5年4月＞ 博士(経営学) 経営学
兼任	講師	松岡 幸司 ＜令和3年4月＞ 博士(文学) 文学
兼任	講師	松岡 英子 ＜令和4年4月＞ 教育学修士 女性福祉論
兼任	講師	市川 正夫 ＜令和3年4月＞ 教育学士 信州・佐久学※
兼任	講師	宮本 由香 ＜令和3年9月＞ 家政学修士 食と健康
兼任	講師	塩村 公子 ＜令和5年4月＞ Master in Social Work(米国) 福祉臨床論
兼任	講師	山口 圭 ＜令和3年4月＞ 修士(社会福祉学)※ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習
兼任	講師	桜井 達雄 ＜令和3年4月＞ 工学修士 信州・佐久学※ 社会環境ケア論※
兼任	講師	安井 幸次 ＜令和5年9月＞ 文学修士、社会学修士 健康まちづくり論※
兼任	講師	根本 貴子 ＜令和5年4月＞ 修士(社会福祉学) 医療ソーシャルワーク論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小池(禎) 隆生 ＜令和5年4月＞ 博士(経済学) 福祉公共政策論
兼任	講師	坪井 明彦 ＜令和5年9月＞ 修士(経営学) マーケティング論
兼任	講師	米本 清 ＜令和5年9月＞ Ph.D.in Economics(米国) 地域・プレメディカル産業論
兼任	講師	藤本 哲 ＜令和5年4月＞ 博士(経営学) 経営学
兼任	講師	松岡 幸司 ＜令和3年4月＞ 博士(文学) 文学
兼任	講師	松岡 英子 ＜令和4年9月＞ 教育学修士 女性福祉論
兼任	講師	市川 正夫 ＜令和3年4月＞ 教育学士 信州・佐久学※
兼任	講師	宮本 由香 ＜令和3年9月＞ 家政学修士 食と健康
兼任	講師	塩村 公子 ＜令和5年4月＞ Master in Social Work(米国) 福祉臨床論
兼任	講師	山口 圭 ＜令和4年4月＞ 修士(社会福祉学)※ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習
兼任	講師	桜井 達雄 ＜令和3年4月＞ 工学修士 信州・佐久学※ 社会環境ケア論※ CBL実習Ⅰ CBL実習Ⅱ
兼任	講師	安井 幸次 ＜令和5年9月＞ 文学修士、社会学修士 健康まちづくり論※
兼任	講師	根本 貴子 ＜令和5年4月＞ 修士(社会福祉学) 医療ソーシャルワーク論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小池(禎) 隆生 ＜令和5年4月＞ 博士(経済学) 福祉公共政策論
兼任	講師	坪井 明彦 ＜令和5年9月＞ 修士(経営学) マーケティング論
兼任	講師	米本 清 ＜令和5年9月＞ Ph.D.in Economics(米国) 地域・プレメディカル産業論
兼任	講師	藤本 哲 ＜令和5年4月＞ 博士(経営学) 経営学
兼任	講師	松岡 幸司 ＜令和3年4月＞ 博士(文学) 文学
兼任	講師	松岡 英子 ＜令和4年9月＞ 教育学修士 女性福祉論
兼任	講師	市川 正夫 ＜令和3年4月＞ 教育学士 信州・佐久学※
兼任	講師	宮本 由香 ＜令和3年9月＞ 家政学修士 食と健康
兼任	講師	塩村 公子 ＜令和5年4月＞ Master in Social Work(米国) 福祉臨床論
兼任	講師	山口 圭 ＜令和4年9月＞ 修士(社会福祉学)※ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習 ヒューマンケア調査論※ ヒューマンケア調査実習
兼任	講師	桜井 達雄 ＜令和3年4月＞ 工学修士 信州・佐久学※ 社会環境ケア論※ CBL実習Ⅰ CBL実習Ⅱ
兼任	講師	安井 幸次 ＜令和5年9月＞ 文学修士、社会学修士 健康まちづくり論※
兼任	講師	根本 貴子 ＜令和4年4月＞ 博士(社会福祉学) 医療ソーシャルワーク論

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

<認可時の附帯事項（遵守事項）への対応による変更>
教員審査の結果、兼任補充可とされた演習・実習科目6科目のうち、以下の科目について、兼任教員1名（菊池小百合）を配置した。
・ケアワーク演習・実習

<講師1名の就任辞退（未就任）による変更>
令和3年度開講科目（1年次配当科目）について、以下のとおり担当教員を変更した。
・入門演習 渡邊 圭 → 永野淳子（兼任）
・CBL実習Ⅰ、CBL実習Ⅱ 渡邊 圭 → 桜井達雄（兼任）
・ヒューマンケア基礎実習 渡邊 圭 → 坂戸千代子（兼任）
その他科目の後任は未定であるが、令和3年度中に専任教員1名を採用する計画である。

<オムニバス方式の見直しによる変更>
以下のとおり担当教員を変更した。
・人間関係とコミュニケーション 兼任・兼担2（倉田郁也、宮内克代） → 兼任・兼担1（宮内克代）

<就任（予定）年月の変更>
・唐鎌直義（教授）、菊池小百合（兼任）、永野淳子（兼任）、倉田郁也（兼任）、村島隆太郎（兼任）、繁田雅弘（兼任）、松岡英子（兼任）、山口 圭（兼任）

【令和4年度】

<講師1名の就任辞退（未就任）による変更>
令和4年度以降の開講科目について、以下のとおり担当教員を変更した。
・災害ボランティア 渡邊 圭 → オムニバス方式とし、兼任教員4名（菊池 亮、菅野 拓、山崎博之、山本克彦）に変更
・ヒューマンケア調査論 渡邊 圭 → 山口 圭（兼任）に変更
・ヒューマンケア調査実習 渡邊 圭 → 山口 圭（兼任）に変更
後任となる専任教員採用予定者については、令和4年度第2回AC教員審査を受審予定である。

<兼任・兼担教員の科目担当辞退による変更>
以下のとおり担当教員を変更した。
・人間関係とコミュニケーション 宮内克代（兼任） → 東 修（兼任）
・多文化理解 芝山 豊（兼任） → 稲葉 景（兼任）
・ボランティア・住民活動論 宮内克代（兼任） → 田中夏子（兼任）
・表現技法Ⅰ 金子光代・風早康恵（兼任2） → 風早康恵（兼任1）
・発達心理学 倉田郁也（兼任） → 吉田孝昭（兼任）
・多職種連携 安川揚子（兼担） → 八尋道子（兼担）
・ターミナルケア論、地域包括ケア論の2科目については、科目開講時までに担当教員を配置する予定である。

<担当教員の追加による変更>
教育内容の充実を図るため、以下の科目について、講師1名（林 宏二、令和4年2月教員審査済）を追加配置した。
・ソーシャルワーク演習Ⅰ
・ソーシャルワーク演習Ⅱ
・ソーシャルワーク演習Ⅲ
・ソーシャルワーク演習Ⅳ
・ソーシャルワーク実習指導Ⅰ
・ソーシャルワーク実習指導Ⅱ
・ソーシャルワーク実習指導Ⅲ
・ソーシャルワーク実習

<職名、就任（予定）年月、保有学位の変更>
・小山秀夫（教授）、朴 相俊（兼担）、倉田郁也（兼任）、山口 圭（兼任）、根本貴子（兼任）

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
9	4	6	1	20	1	8	4	5	1	18	1
(6)	(4)	(6)	(1)	(17)	(1)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
9	4	5	1	19	1	9	5	5	1	20	1
[0]	[0]	[△1]	[0]	[△1]	[0]	[0]	[1]	[△1]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要せず済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	6 名	6 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{19}{20} = \boxed{95.00} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{6}{18} = \boxed{33.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{1}{1} = \boxed{100.00} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
								選択	災害ボランティア	②			
1	講師	渡邊 圭	R2.11	必修	入門演習	②	R2.11 一人上の都合(家庭事情)により就任辞退(3)						
				必修	CBL実習 I	②							
				選択	CBL実習 II	②							
				必修	ヒューマンケア基礎実習	②							
				必修	ケアワーク演習・実習	③							
				必修	ヒューマンケア調査論	②							
				選択	ヒューマンケア調査実習	②							
				選択	リスクマネジメント論	③							
				選択	健康まちづくり論	③							
				選択	災害福祉論	③							
				必修	ヒューマンケア専門演習 I	③							
				必修	ヒューマンケア専門演習 II	③							
				選択	CBL総合演習・実習	③							
				必修	卒業課題研究	③							
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	8	科目	必修	0	科目	必修	4	科目	必修	4	科目
		選択	7	科目	選択	0	科目	選択	3	科目	選択	4	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	15	科目	計	0	科目	計	7	科目	計	8	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
								①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)								
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	8	科目	必修	0	科目	必修	4	科目	必修	4	科目
		選択	7	科目	選択	0	科目	選択	3	科目	選択	4	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	15	科目	計	0	科目	計	7	科目	計	8	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{20} = 5.00\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p><大学の所見> 認可後、講師1名が就任辞退となったが、令和3年度開講科目については、担当教員を兼任教員に変更し対応したため、学生の履修等には影響がなかったものと思われる。令和4年度前期も同様の対応をとっている。就任辞退となった講師の後任については、令和4年度第2回AC教員審査を受審の上、令和4年9月に専任教員1名を採用し、補充する予定である。</p> <p><学生への周知方法> 担当教員の変更については、シラバス等に反映するとともに、履修ガイダンス等で説明を行っている。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>認 可 時 (令和2年10月)</p>	<p>学部及び学科名称に「人間福祉学」を掲げ、その特色として看護学部等との連携教育や多様なニーズに対応できる社会福祉教育を行うことが説明されているが、社会や学生に対してその特色や教育内容を十分に周知すること。</p> <p>遵守事項</p>	<p>人間福祉学部の特色や教育内容を社会や学生に周知するため、以下の取り組みを行った。(3)</p> <p>①認可後、県内全高校に高校生・受験生向けのチラシを配布するとともに、県内全高校と隣接県の主要高校を訪問し、学部・学科名が変更となった経緯と合わせて、本学部の特色等について、丁寧な説明を行った。</p> <p>②本学部の特色や教育内容については、本学ホームページに具体的かつ詳細に掲載するとともに、オープンキャンパスでの学科紹介や模擬授業等を通して、高校生・受験生、保護者等への周知を図った。なかでも、看護学部等との連携教育への関心は高く、オープンキャンパスでは、看護学部の教員・学生とともに合同で説明を行っている。</p> <p>③地域住民に向けては、令和3年1月以降、本学教員が交代で地元のFMラジオやテレビ番組に出演し、本学部の特色や教育内容等を中心に、定期的な広報を行っている。</p> <p>④市民・専門職向けの公開シンポジウムを令和2年8月と12月に開催し、多様なニーズに対応した社会福祉教育並びに人材育成についての周知を図った。前者は佐久圏域の自治体の首長と本学による「地域創生とヒューマンケアの人づくり」、後者は本学教員と専門職による「アフターコロナを生き抜く人材育成」である。周辺自治体とは、既定の3市町村に加えて、令和2年度以降、新たに2市と包括連携協定を締結し、GBL教育(Community Based Learning)等への支援を受けるとともに、自治体推薦入試を行うことで、本学部の人材育成について自治体サイドからも地域住民への周知を担ってもらっている。</p> <p>履行済</p>	

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
<p>認 可 時 (令和2年10月)</p>	<p>教員審査の結果「兼任補充可」とされた演習・実習指導科目の6科目において、厚生労働省の指定基準を大きく上回っていることを理由に教員補充をしていないが、当初予定していた教員組織より1名減ずることによる教育の質の担保の説明が不十分であることから、科目開講時まで確実に教員を配置すること。</p>	<p>遵守事項</p> <p>指摘された社会福祉資格関連の演習・実習指導6科目（ケアワーク演習・実習、精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅱ、精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ、精神保健ソーシャルワーク実習）のうち、2年次開講科目であるケアワーク演習・実習については、併設の短期大学部教員を兼任教員として配置した。(3)</p> <p>精神保健関連の5科目については、令和3年度中の兼任教員の補充はできなかった。(4)</p>	<p>履行中</p> <p>3年次以降の開講科目である精神保健関連の5科目については、令和3年度中に兼任教員を補充する計画としている。(3)</p> <p>精神保健関連の5科目については、科目開講時まで兼任教員を補充の上、確実に配置する。(4)</p>
<p>設置計画履行状況 調査結果 (令和3年)</p>	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>遵守事項</p> <p>本学部の教員編成については、認可申請時の特例であることを学内にも周知しており、完成年度後の教育研究の継続性を担保するべく、適切な運用を図っている。(3)</p>	<p>履行中</p> <p>補正申請時に提出した教員組織編制の将来構想について、着実な実施・移行を図るべく、その対応に着手していく。(3)</p> <p>引き続き、定年規程の趣旨を踏まえつつ、上記の計画を着実に履行していく。(4)</p>
<p>設置計画履行状況 調査結果 (令和3年)</p>	<p>教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (人間福祉学部人間福祉学科)</p>	<p>指摘事項 (改善)</p> <p>開設年度である令和3年度の入学者が28人（入学定員充足率40.0%）となったことを受け、高校の進路指導教員や高校生、受験生の認知度を高めるため、以下のような方針・体制により、入学定員未充足の改善に努めた。(4)</p> <p>【方針・体制】 人間福祉学部の学生確保と入学定員未充足の改善を大学の重点戦略として位置づけ、令和3年度事業計画に盛り込むとともに、学生確保に向けた全学方針の決定と教職員への周知徹底を図るため、学長を責任者とする全学学生確保対策会議と学生確保と密接に関連する全学広報戦略会議を設け、それぞれ2回開催した。また、人間福祉学部内にも副学長を本部長、学部長・学科長等を本部員とする学生確保対策本部を立ち上げ、年6回会議を行った。学生確保に向けた具体的な戦略を提起するとともに、入試広報課と連携した学生募集活動を行うと同時にその管理と総括を行った。</p> <p>(※次ページへ続く)</p>	<p>履行中</p> <p>令和5年度に向けた学生確保においてもこれまでの取り組みを継続実施するとともに、高校の進路指導教員や高校生、受験生の認知度をさらに高めるための取り組みを強化する。また、令和4年度からは、地元自治体である佐久市と連携した学生確保・定着のための取り組みを新たに開始する。具体的には、①広報活動の強化、②人間福祉学部の学生に限定した奨学金制度の創設、③空き家活用による学生シェアハウス（学生の学び場としての活動拠点）の整備である。教育内容の充実や上記の取り組みなどにより、入学定員未充足の改善を図っていく。(4)</p>

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
設置計画履行状況 調査結果 (令和3年)		<p>【具体的な取り組み】 大学案内の工夫やホームページの充実、高校からの要請に基づく出前授業の実施などのほか、以下のような取り組みを重点的に行った。</p> <p>①高校の進路指導教員や高校生、受験生への周知を最重点戦略とし、県内全高校を人間福祉学部の専任教員が3回、アドミッション・オフィサーと入試広報課職員が1回の計4回訪問した。県外は富山・新潟・山梨・群馬の4県を中心に対象校をリストアップし、計20校ほど訪問した。</p> <p>②高校生、受験生向けのオープン・キャンパスを強化し、計8回開催した。新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、リモートを併用し、開催した（参加者80名）。</p> <p>③地域住民の認知度を高めるため、地元のケーブルテレビやFMラジオを活用し、人間福祉学部の専任教員のインタビュー（教育内容の紹介など）を年間を通して配信した。</p> <p>④人間福祉学部の学生確保の土台作りとして、教育内容や人材育成方針等に対する理解を深めてもらうため、地元の保健福祉の現場との人材育成に関する懇談会や高校長会との連携協議会を開催した。</p> <p>上記の取り組みなどにより、令和4年度入学者は38人（入学定員充足率54.0%）と改善傾向を示したが、依然として、入学定員未充足の状態が続いている。</p>	

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人間福祉学部 人間福祉学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
「該当なし」	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>佐久学園FD・SD委員会規程に基づき、全学FD・SD委員会が設置されている。委員会は、看護学部教員3名、人間福祉学部教員2名、短期大学部教員2名、事務局1名の計8名で構成している（令和4年5月1日現在）。委員会の統括は、学長から指名された委員長が行うが、委員会活動の管理者として、副学長と事務局長を配置している。その他、委員会は各学部、短期大学部、事務局ごとの小委員会に分かれ、それぞれ活動を行っている。 【添付資料】佐久学園FD・SD委員会規程</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>令和3年度には、全学委員会は計10回開催されており、大学全体のFD・SD活動推進に関わる計画の策定・実施の検討などが行われている。教員の参加状況については、上述のとおりである。 人間福祉学部における教員の資質の維持向上に向けた取り組みは、副学長（人間福祉学部教員）、学部長、学科長と学部FD・SD委員が中心となって進めている。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>委員会の審議事項は、佐久学園FD・SD委員会規程第3条に規定している。 第3条 委員会は以下の事項を所掌する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教員のFD活動推進に関わる計画の策定および実施に関すること 2. 職員業務の推進、管理・運営の改善のためのSD推進に関わる計画の策定および実施に関すること 3. FD、SD自己点検報告書の作成に関すること 4. FD、SDに関し、学長の諮問をうけたこと 5. その他、委員会が、FD、SDの推進に必要と判断したこと
<p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>人間福祉学部のFD活動は、教員間の共通理解を深めることを目的に行っており、令和3年度は以下の内容を中心に実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> A. 人間福祉学部教育の理解 I. カリキュラムマップと授業科目の関連（授業科目編成の理解） U. 授業研究 E. 教育指導 <p>b 実施方法</p> <p>主要科目教員が講義し、質疑応答、意見交換するという形式を基本に行っている。中間では、これまでの実施内容を受けての疑問点や課題をブレインストーミングする場を設け、問題点を各教員が整理し、発表することも行った。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>令和3年度は以下のとおり、計11回開催した。全教員の出席を義務づけており、毎回の出席率はほぼ100%である。 【前期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 第1回（R3. 5. 12） 人間福祉学部の教育課程の展開と編成原理の理解 第2回（R3. 6. 2） 佐久大学の社会的使命、看護学部の果たしてきた役割と人間福祉学部 第3回（R3. 6. 9） Microsoft Teamsの活用法 第4回（R3. 6. 23） カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーの理解（グループワーク） 第5回（R3. 7. 7） 基盤教育の充実：GBL教育の現状とヒューマンケア基礎実習の進捗 第6回（R3. 8. 4） 基礎基盤科目の研究：社会福祉原論、ヒューマンケア概論

【後期】

- 第7回 (R3. 10. 13) 社会福祉論を終えての報告と課題
- 第8回 (R3. 11. 6) 地域福祉論の実践と学部カリキュラムとの関連
- 第9回 (R3. 11. 10) CBL実習Ⅰ・Ⅱ、入門演習を終えての報告と課題
- 第10回 (R3. 12. 1) 児童福祉論Ⅰの実践と学部カリキュラムとの関連
- 第11回 (R4. 2. 2) 社会保障論Ⅰの実践と学部カリキュラムとの関連

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

これまで、学部の教育課程やカリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー等の共通理解を深めることに重点を置いてきた。学部開設から1年が経過し、科目の目的や学習目標に対し、学生がどのように学びを深めたか、あるいはそれをどのように把握しているかなどを教員間で話し合い、アセスメント・ポリシーの理解を深め、それに基づく達成度評価（調査）の検討に結びつけた。今後は、年次進行に伴い、開講科目も増えるので、さらに学部の授業体系のなかでの各科目の位置づけと教育方法の向上に結びつけていけるような取り組みを行っていく予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

年2回実施（前期・後期末）

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員には個々に結果を通知、学生にはLMS（manaba）を通じて結果を公表している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

（4）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学部は令和3年度に開設したばかりであり、設置の趣旨・目的の達成状況に関する自己点検評価作業はこれからである。現在は、これらの作業に向けて、全学の自己点検・評価委員会の下に人間福祉学部の自己点検評価部会（学部長、学科長、教務委員長、学生委員長で構成）を発足させ、体制を整えた段階である。さらに、自己点検評価を行うためのエビデンスの確保のための学部戦略、アセスメント・ポリシーの策定を行っているところである。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

本学では、年度ごとの各学部・学科、部局等の自己点検評価の集約を翌年5月31日までとし、外部評価者のコメント、教授会等での審議を経て、全学的な調整を行った後に学長が決裁し、7月1日に自己点検・評価報告書を公表することとしている。従って、人間福祉学部開設1年目となる令和3年度の自己点検・評価報告書の公表は、令和4年7月1日の予定となる。

b 公表方法

大学ホームページ上での公表としている。

③ 認証評価を受ける計画

本学（看護学部・看護学研究科）は、令和2年度に公益財団法人日本高等教育評価機構の認証評価を受審し、認定を受けた。人間福祉学部を含む認証評価は、令和8年度に取りまとめ、令和9年度に受審の予定である。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

佐久学園FD・SD委員会規程

(目的)

第1条 本規程は、佐久大学および佐久大学信州短期大学の教授会運営規程に基づき置くFD (Faculty Development) 組織と、学校法人佐久学園が設置するSD (Staff Development) 組織に関し必要な事項を定めるものである。

(趣旨)

第2条 教員の教育研究活動の向上と、教育研究能力の開発を図ることで教育の質的向上を目指すことを目的とするFD組織と、佐久学園職員の能力と資質の向上により学園の組織運営の改善と教育・研究活動の支援力を高めることを目的とするSD組織は、大学および学園発展の両輪であり、これらを一体的に運営することで効果的に目的達成を図るものである。

(所掌事項)

第3条 委員会は以下の事項を所掌する。

1. 教員のFD活動推進に関わる計画の策定および実施に関すること
2. 職員業務の推進、管理・運営の改善のためのSD推進に関わる計画の策定および実施に関すること
3. FD、SD自己点検報告書の作成に関すること
4. FD、SDに関し、学長の諮問をうけたこと
5. その他、委員会が、FD、SDの推進に必要と判断したこと

(組織)

第4条 委員会は、以下の委員で構成する。

1. 学長と学部長が調整の上、それぞれの教授会で選出した教員、佐久大学6名、佐久大学信州短期大学部2名
2. 事務局長または事務局次長
3. 学長が指名した課長1名を含む職員3名
4. その他、必要があるときは、委員以外の関係者をオブザーバーとして出席させることができる。

(任期)

第5条 委員の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

- 2 委員に欠員が生じたときは速やかに補充するものとする。補充者の任期は前任者の残任期間とする。

(委員長等)

第6条 委員会に委員長を置き、委員長は、学長が指名する。

- 2 委員会に副委員長をおき、教員および職員から各1名ずつ、委員会で選出する。
- 3 委員長は、会務を総括する。

(運営)

第7条 委員会は委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会は必要に応じて委員以外の教職員の出席を求め、その意見を聞くことができる。
- 3 委員会は、必要に応じてFD、SD小委員会を開くものとする。小委員会は、副委員長が招集し議長となる。

(会議)

第8条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
- 3 委員長は、会議の経過及び結果を教授会および職員会議に報告しなければならない。

(小委員会)

第9条 委員会は、必要があれば、委員以外の者を加えて、特定のテーマを審議する小委員会を置くことができる。

2 小委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(庶務)

第10条 委員会の庶務は大学事務局が行う。

(補則)

第11条 この規程の運用、解釈等について、疑義が生じたときは、佐久学園協議会において決定する。

(規程の改廃)

第12条 この規程の改廃は、佐久学園協議会の同意を得て、学長が行う。

附 則

佐久大学FD委員会規程、佐久大学信州短期大学部FD委員会規程、佐久学園SD委員会規程は、廃止する。

この規程は、平成30年4月1日から改正施行する。